

レポート

従業員とお客様が一体となって エコドライブ活動に取り組む

沖縄トヨタ自動車 株式会社が 審査委員長特別賞、優秀賞を受賞

ンクール」で優れた取組を行った事業者を表彰する「2024年度エコドライブシンポジウム」を開催した。

沖縄トヨタ自動車(株)が「審査委員長特別賞」および「優秀賞」を受賞

2024年度のコンクールは、5月から7月までの応募期間中、348件(1759事業所)の応募があり、審査委員長(大聖泰弘 早稲田大学名誉教授)ら有識者で構成される審査委員会により、国土交通大臣賞1件、環境大臣賞1件、審査委員長特別賞1件、優秀賞6件、優良賞22件が選考された。

上位入賞事業者は次のとおり。

【国土交通大臣賞】(事業者部門)

・上越運送株式会社

【環境大臣賞】(一般部門)

・株式会社利根川産業

【審査委員長特別賞】

(支援ビジネス・ユニーク部門)

・沖縄トヨタ自動車株式会社

燃費王

(FUN TO ECO DRIVE)

【優秀賞】(一般部門)

・沖縄トヨタ自動車株式会社



シンポジウムでは沖縄トヨタ自動車(株)の取組を紹介



〈優秀賞〉
岩村会長(右)から根間 政幸 常務執行役員(左)に賞状と盾が贈られた



〈審査委員長特別賞〉
大聖審査委員長(右)から崎原 吏 代表取締役副社長(左)に賞状と盾が贈られた

沖縄トヨタ自動車(株)の野原 朝昌
代表取締役社長にエコドライブへの
思い、将来の夢、お客様への思
いを伺った



沖縄トヨタ自動車(株) 野原 朝昌 代表取締役社長

— 今回の受賞についての受け止めをお聞
かせください。

これまで二度、環境大臣賞を受賞いた
しましたが、この度は審査委員長特別賞
ということで、これまでのエコドライ
ブの取組が評価されたことを、とても嬉し
く思います。この活動への取組は、受賞

することを目的としている訳ではありません
せんが、グループ社員とお客様とが、と
もにエコドライブを楽しんでくださって
いることを評価していただけたことを、
率直に嬉しく思います。

— 現在、九州のトヨタグループも巻き込
んだ取組が行われていますが、将来の夢
はございますか。

九州のトヨタ販売店の皆さんと、エコ
ドライブを「燃費王決定戦」というイベ
ント名で実施いたしました。メーカーで
はない私たち販売店が、商品車などを
使うSDGsに寄与できる数少ない取組だ
と思います。この活動が九州に留まらず、
全国にも広がれば素晴らしい活動になる
ものと思います。

— エコドライブは、単に燃費を抑えるだ
けでなく、自ずと安全運転にも繋がる取
組です。ユーザーの皆様にも、一言お願い
します。

エコドライブは、低燃費運転をすれば
良いと捉えられがちですが、エコドライ
ブをするには、時間にゆとりをもった行
動計画、他車に対する気配りや優しさ

といった、エコドライブ技術が必要だと思
います。その先には、低炭素社会の実現、
事故低減、他車への思いやりから、最後
には世界平和に繋がるものと思っています。
す。

シンポジウムでは、コンクール受賞事
業者の取組紹介が行われ、同社グループ
総合企画部 地域支援課の平良 優之介氏
から概略次のとおり事例発表が行われた。

「燃費王」サイトを活用した エコドライブ活動への取組

■エコドライブに取り組む目的

車の楽しさや魅力を伝えるだけではなく、
お客様にエコドライブの重要性を伝
え、交通死亡事故ゼロと沖縄の美しい自
然環境を次世代に残していくための地域
貢献活動に取り組んでおります。

この活動は、2011年から沖縄ト
ヨタ自動車(株)(約400名)単体で行って
いた取組でしたが、2022年4月に、
沖縄トヨタ自動車(株)、沖縄トヨペット(株)、
トヨタカローラ沖縄(株)、ネッツトヨタ沖
縄(株)の4社が統合されたことをきっかけ
に、統合された沖縄トヨタ自動車(株)(約



自社の取組を発表する平良 優之介 氏

1300名)でも同様に取り組んでおります。

エコドライブ活動を実施するためのツールとして、当社独自の燃費管理サイト「燃費王」を活用しています。

このサイトは、各社員がスマートフォンやパソコンからアクセスし、給油時に「給油量と総走行距離」を記録することで燃費を算出する仕組みになっており、また、個別の目標燃費やカタログ燃費との比較が出来るようになっています。このように燃費を「見える化」することで、自身の燃費を把握することが可能となり、

エコドライブへの士気向上にも繋がっております。サイトの活用によって、エコドライブの定着と安全運転の意識向上、そして燃費向上によるCO₂削減に貢献することが大きな目的となっております。毎年、新入社員を対象にエコドライブ活動の重要性について、研修を実施しております。そこでは、車の楽しさや魅力を伝えるだけでなく、エコドライブの実践で燃費を良くするほか、CO₂排出量削減による環境問題への貢献や給油量削減により経済的にも優しくなること、さらに安全運転により交通事故防止にも繋がることを伝えております。

エコドライブ活動と「燃費王」サイトの利用定着を図るため、定期的に社内ではエコドライブ強化月間を設けています。今回は全社員を対象にグループ分けを行い、3か月という期間の中で「燃費王」サイトの利用率と目標燃費の達成者率の2項目を集計し、より良い成績を収めたグループの上位3者を、翌年実施予定の全社員大会で表彰する予定です。

■エコドライブ活動の成果

現在の沖縄トヨタ自動車(株)に移行する

までの期間、グループ全体にエコドライブ活動を浸透させるまでには、かなりの時間を費やしました。定期キャンペーンなどを通じて活動を継続していくことで、燃費数値が上がり、経済的にも好ましい結果に繋がったため、参加者が続々と増加することとなりました。開始当初の2011年は平均燃費が9・9 km/ℓだったものが、直近の23年には15・4 km/ℓと約55%の向上を見せました。今後も、さらなる燃費改善を目指し、活動を進めていきたいと考えております。

■県内の子ども食堂を支援

エコドライブ活動では、そのほかに沖縄食糧(株)とともに取り組んでいる活動として、「スマイルライスプロジェクト」があります。この取組は、エコドライブ活動と県内の子供たちへの食の支援を掛け合わせた活動です。具体的には、沖縄食糧(株)の社用車184台を燃費王サイトに登録し、エコドライブを実践していた。その成果として、溜まった「エコポイント」を両社で蓄積し支援金に換算し、それで「お米券」を購入し、沖縄県社会福祉協議会を通じ県内の子ども食堂

などに配布しています。このプロジェクトは2021年にスタートし、これまで計3回約380枚分の「お米券」を配布しました。子供の成長に欠かせないお米は勿論のこと、勉強環境を整えるという観点から文房具の購入にも活用しています。

■お客様向けの取組

「燃費王」サイトを活用した社会貢献活動の仕組みとして、「お客様向けのエコドライブ会員制度」を設けました。

エコポイントを活用し、お客様は、当社へのサービス入庫、あるいは指定団体への寄付などにポイントを還元することができます。今年度は、お客様と当社のグループ社員が貯めたエコポイントから、「沖縄県交通遺児育成会」および「NPO法人メッシュサポート」に寄付し、大変喜ばれました。

今後は選沢肢をさらに増やすため、指定団体ではなく、「活動」に対する寄付を募る方式に変更し、当社のエコドライブ活動の目的に沿うよう、「自然環境保全活動」、「地域の交通課題解決」、「交通事故防止への支援活動」の、3つの活動に寄付していくことといたしました。



左から、根間 常務執行役員、崎原 副社長、平良さん、知念さん

■グループ全体の活動

グループ全体での活動として「燃費王決定戦」を実施しました。お客様とエコドライブを楽しみながら、安全運転や環境問題に対する意識向上を図ることを目的に開催しました。2023年に延べ12回、予選会は当社の各店舗の規定コースを走行し、燃費上位のお客様が本戦に出場できます。本戦では決められたチェックポイントを制限時間内に通過していた、最終ゴール地点で最も燃費が良かったチームが優勝で、「燃費王」の称号が与えられます。

本戦出場のお客様は、一般枠、招待枠を含め全46チーム。燃費王に輝いたチームの最高燃費は51・8 km/ℓを記録し、スペシャリスト部門の記録は60・4 km/ℓという好成績を納めました。

さらに、この知見を基に、2023年12月には、初の試みとなる「燃費王決定戦・九州沖縄大会」を実施しました。九州のトヨタ販売店の社員を対象に、車の楽しさや魅力、交通死亡事故ゼロ、環境への意識を訴求することを目的に、九州から25社に参加をいただきました。

2024年12月8日には、「トヨタ自動車販売店協会九州支部」主催による「燃費王決定戦・沖縄大会（宜野湾マリーナ）」が開催されました。今後は、同協会九州支部の活動として、九州各県で継続的に実施される予定です。

■今後の展望

ノウハウや意義をお客様に伝え、九州全体、さらには全国に活動の輪を広げていけたらと思います。自社内のエコドライブ活動をより多くの皆様に届くよう発信し、普及させることで持続可能な未来をとともに築いていけると信じております。